



協会ニュース

2026.3 vol.76

目次

- ◇あなたにとっての「ソーシャルワーカーって？」 interview
- ◇研修報告
- ◇病院紹介
- ◇次回研修案内
- ◇編集後記

◇interview◇ あなたにとっての『ソーシャルワーカーって？』

今年度に行われた全国大会のテーマについて、大会後実行委員のメンバーそれぞれで向き合い考えました。お寄せいただいた内容の一部をご紹介します。



人生のピンチの時、ソーシャルワーカーはそれを本気で受け止めて一緒に考えてくれる人…タフな仕事だなあと…思います

「開拓者」の要素があるなと思います。

答えを出さないように生きていこうかなとは思っています。

繋ぐ紡ぐ！ プロフェッショナル そして希望のナビゲーター。

私は、まだ答えが見つかりません。

患者、家族の心の痛みや不安、悩みを受けとめ、前進できるまで支え続ける、存在。

共感と利他の気持ちを持ちながらも、しっかりと目標設定ができて実行できる人たち、ですかね。

患者さんのストレンギスを考えると同時に、自施設のストレンギスも考えるべき職種。

個の課題を社会の(ソーシャル)課題として捉えて働く人。



「未来を紡ぐ人たち」未来を照らす天職！

やりたい人しかできない、難しいけどすごいお仕事。

時流に適應できるしなやかな心を備えた人



“愛ある実行委員”のみなさんや多くのサポーター、関係者さんと一緒にできたこと、それこそが、私にとっての【ソーシャルワーカー】って…の答えのひとつかもしれません。

「繋ぐ」だと思えます。

マラソンの伴走者かなって思っています。

患者さんを主役にするための役者・演者と思うことがあります。

これからも答えを探し続けることに気づいた私です。

感受性と想像力を鍛え、考え続ける忍耐のヒト！のこと。

人間と人間社会への飽くなき興味関心+勇気(愛)で仕事をする人。

「挑戦者たち」プロジェクトXみたいですが…。

人間の尊厳を制度やシステムに織り込み、人間の変化の可能性を信じ続ける人々。

何にでもなれる存在

相手に応じて形を変えながら、自分の芯を守り、問い続ける者。

病院経営のキーマン



目の前にいる人の心を開いてくれる存在。

感受性と忍耐力を持った帆。

いつになるか分かりませんが、自分の中で「ソーシャルワーカーって…」の答えが出せるようになります。

人の良いところを見つけることが得意なこと、(患者、家族、職員、地域etc...)一緒に悩む専門家であること、だと思っています。

答えに辿り着きませんでした。きっと明確な答えは一生見つからないと思いますが、日々探求していきたいと思っています。

研修報告



初任者研修

第一回

日時:8月2日(土)

場所:七栗記念病院

『ソーシャルワークの価値と倫理』

『社会保障制度とソーシャルワーク』

『病院機能について』

講師: 国立病院機構 三重病院 高村純子氏

三重大学医学部附属病院 鈴木志保子氏

鈴鹿中央総合病院 村上佳奈氏

岡波総合病院 松田崇志氏

長島中央病院 小川綾美氏

小山田記念温泉病院 福岡涼氏

鈴鹿回生病院 富山恵資氏

第二回

日時:10月4日(土)

場所:鈴鹿回生病院

『ソーシャルワークと記録』

『生活機能障害とソーシャルワーク』

『チーム医療と地域連携』

『「家族」の理解』

講師: 藤田医科大学七栗記念病院 落合幸太郎氏

伊勢赤十字病院 脇海道友美氏

鈴鹿回生病院 久保信裕氏

寺田病院 勝又広志氏

第三回

日時:2025年12月13日(土)10:30~16:30

場所:津市久居アルスプラザ カルチャールー

『支援方法論 入退院支援とアセスメント』

『支援方法論 面接技術とマイクロ・メソ』

近況報告、修了式

講師: 神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

社会リハビリテーション学科 准教授 伊藤隆博氏

参加者の声

基礎知識に加え、実践的な面談技術や記録方法を学び、実際の業務に役立てる事ができた。また、研修生との交流を通して成長を実感し、人との繋がりを深めることができた。今後も、本研修で学んだことを、日々の業務に活かしていきたい。

松阪中央総合病院 川口 由依 氏

イベントの様子

鈴鹿医療科学や皇學館大学の学生、現役のソーシャルワーカーの方が集まりました。当協会からは小山田記念温泉病院 森島涼葉さんが実践報告され、これからソーシャルワーカーを目指す学生さんの希望になるような素晴らしい報告でした。ワールドカフェでも当協会から3名がファシリテーターとして医療グループとして参加し、SWを目指す学生の方々とセッションし、盛り多い時間となりました。



実践報告の様子

ワールドカフェの様子



全体向け研修 社労士による障害年金について

日時:12月9日(火) ※オンライン開催

講師: 社会保険労務士法人みのり

社会保険労務士 出口啓一氏

参加者の声

研修に参加し、障害年金制度について学びを深めることができました。特に事例をもとに、初診日の時期や請求方法についても分かりやすく説明頂き、とても勉強になりました。今回学んだことを活かし、現場での支援に繋げていきたいと思っております。

岡波総合病院 井上 茉耶 氏

実践報告会

日時:2月15日(日) 場所:鈴鹿中央総合病院

座長: 藤田医科大学 七栗記念病院 落合幸太郎氏

【報告】

①藤田医科大学 七栗記念病院 日高知咲氏

『回復期における高次脳機能障害を有する患者の支援について新人MSWが考える』

②小山田記念温泉病院 森島涼葉氏

『終末期ケアにおけるソーシャルワークを考える
～精神障害をもつ末期がん患者の支援を通じて～』

③三重大学医学部附属病院 大西和彦氏

『脳卒中・心臓病等総合支援センターにおけるMSWの関わり』

④鈴鹿中央総合病院 数下茂樹氏

『意思決定支援とMSW』

⑤岡波総合病院 松田美穂

『MSWの価値の中心はどこにある？
～専門性形成期にあるMSWのもやもやを紐解いて～』

参加者の声

幅広い経験年数の方が参加され、実践報告だけでなく質疑応答まで聞くことで、自分だけでは気づけない新たな視点を知り、さらに理解を深められたと思う。今回得た知識や視点を日々の業務へつなげ、自己研鑽していきたい。

小山田記念温泉病院 八木 美菜子 氏



座長・発表者

実践報告会の様子

病院紹介 《岡波総合病院》

地域連携室の紹介

当院は、創立100周年の記念事業として2023年(令和5年)に新築移転しました。

旧病院の耐震性や設備面、駐車スペースなどの課題に対して、規模・設備ともに拡充し、病床数335床(一般・回復期リハビリ・ICU等)を有し、当院の院提や理念、基本方針をもとに救急医療や幅広い診療機能の提供を目指し努めています。8階建て、最上階に介護老人保健施設を併設し、急性期から回復期、在宅支援までを担う地域中核病院です。リハビリや介護施設を併設しており、医療から介護までの切れ目のない連携がスムーズな体制となっています。

また、県境に位置する立地特性を生かし、奈良県や京都府など近隣からの患者受け入れも行き、地域や行政区分を越え、患者中心の医療を実現する連携病院としての役割を担っています。

エントランスは、病院名「岡波」にちなみ、水面に広がる“さざなみ”をモチーフにデザインされ、安心感と温かさを感じる入口となっています。こちらにお越しの際はお立ち寄りいただければ幸いです。ご案内いたします。

患者サポートセンターの紹介

当院の患者サポートセンターは、前方業務を行う地域医療連携室と後方業務を行う医療福祉相談室で構成しています。

私が所属する医療福祉相談室は、退院支援看護師1名、MSW8名体制で、内訳は20代5名、40代1名、50代3名です。

第16回目は、岡波総合病院からの報告です。



社会医療法人 畿内会 岡波総合病院

〒518-0121 三重県伊賀市上之庄 2711-1
電話: 0595-21-3135

院是

至誠 注意 満足

- ・至誠とは何ごとも真心を込めて行い努めます。
- ・注意とはすべて細心の注意をはらって仕事に励みます。
- ・満足とは自分はもちろんのこと相手に満足していただくよう努めます。

理念

人々の健康と幸せのために、「人間としての愛」の精神をもって心からの医療と福祉を提供していきます。

基本方針

- ・私達は、「至誠・注意・満足」の院是の基に患者様と信頼を共有できるように心の通じた医療サービスを実践いたします。
- ・私達は、医療水準の日々向上を目指し、高度適正な医療を実践いたします。
- ・私達は、患者様に心温まる細心の看護と介護の提供を実践いたします。
- ・私達は、地域の医療福祉機関との連携を密接にとり、患者様すべてに公正な医療の提供とプライバシー保護を実践いたします。

ソーシャルワーカーデーIn三重

日時:12月7日(日)

場所:鈴鹿医療科学大学 千代崎キャンパス

プログラム:

【第1部】実践報告 いま、こんなお仕事してます

児童家庭センターいほ 小出歩未氏

総合心療センターひなが 伊藤真彦氏

小山田記念温泉病院 森島涼葉氏

【第2部】ワールドカフェ

年齢差のある職員がともに働く中で、世代に応じた教育体制の充実が求められています。新人1年目は特定の指導者がつき、「岡波病院MSWとしてあるべき姿」と題した手引きをもとにスキルを身につけていきます。もちろんその後も必要に応じてフォローは続きます。さらに、「もやもやシェアミーティング」と題して、週に1回のミーティングを行っています。これを通じて日々の気づきや疑問を共有し、対話から学びを深める取り組みを行っています。責めない、ミーティングすること自体にもやもやし始めたらずめるとなっており、先輩はコメント力を培う機会となっています。

休憩時間や仕事中を問わず、気づけばおかんと子どものようなやり取りになることもあります。厳しさと真剣さの中にも笑いが絶えず、おかんとしても愛おしく思える仲間です。

これからも伊賀の医療を守り続ける一員、将来にわたって地域医療を支える拠点となるよう仲間たちと切磋琢磨していきたいと考えております。



今後の研修案内

■2026年度三重県MSW協会総会

日時：2026年5月23日(土)

会場：三重県総合文化センター 視聴覚室

* 詳細については協会から届くご案内を参照してください。ご参加お待ちしております。

編集 後記

コップ半分の水を"もう半分しかない"または"あと半分もある"と考えるのか、どこに主眼を置くかで意識が変わるというのは有名な話です。普段、課題を抱える相談者を前にした時に、まず支援者である私たちがどう相手を捉えるかで支援の展開も変わってきます。そう思うと、わたしたちがいかにニュートラルに多角的に相手の人柄や心情、強みを捉えるかが相手との関係構築には大切なことだと考えます。自身の価値ではなく、相手の価値に主眼の置いたニュートラルさを備えたソーシャルワークを今後も目指していきたいと思います。来月からは新年度。また新たな気持ちで毎日を積み重ねていきたいですね。

担当：小坂・松田

編集・発行 三重県医療ソーシャルワーカー協会
 ホームページ <http://www.mie-msw.com/>
 事務局 小山田記念温泉病院
 〒512-1111 四日市市山田町5538-1
 ☎059(328)1260

お店紹介 ITOの台所

2024年9月にオープンした居酒屋。
 手作り餃子やだし巻き卵などどれもほっとする味わいです。店内はお客さんの笑い声が満ち、自然と声も弾むにぎやかな空間。仲間との語りも、周りを気にせず思いきり楽しめます。まるで“台所”のようにあたたかく、元気と笑顔があふれる一軒です。なかでも里芋の唐揚げは、おすすめの一品です。
 令和8年2月 (文:MSW山本)

